

しんぶん赤旗読者ニュース

編集
責任者
林 新義

又一軒紅葉の秋離村する 皆雪のため 過疎の山里

高齢化は急激に進む 昭和37年には
134戸624人 現在は76戸18
0人 全戸数の半数以上が一人又二人
の世帯 65歳以上の高齢者は全住民
40%に達するという千垣 限界集落
化の危機と地区公民館長の弁 住めば
都の山里にもどれる日…?

佐伯町子



限界集落対策は待たなし 中山間地へ支援の手を

上記の短歌は、中山間地に住む人たちの率直な気持ちが入められ、胸が痛む思いで口づさみました。まさに今の町の現状を映し出しています。

立山町の人口推移は下記の通りになっています。

人口増加が著しいのは利田地区で、プラス22%もの伸びがあり、今後この地区を中心に大森・新川地区の人口は増えていきそうです。

一方、人口減少地区は中山間地域である東谷地区のマイナス25%を筆頭に上段・立山地区の人口は大きく落ち込んでいます。原因はいろいろありますが、なぜ、

こんな現象が起きているのでしょうか。人口が増えている地区は、雪が少ないということはあると思います。しかし、何よりも若者が住め、子育てしやすい環境があるかどうか大きな要因を占めています。

いると思われる。利田地区などは保育所の延長保育や学童保育所が立派に整備され、父母が安心して働けるといふ環境があります。

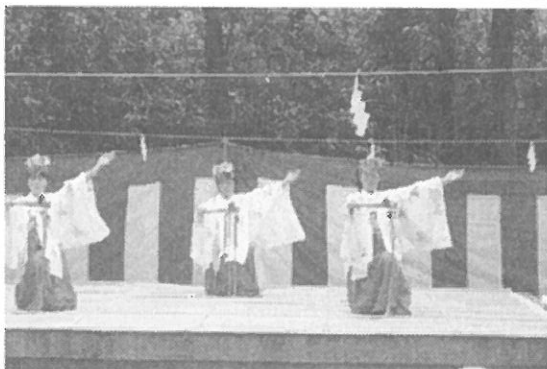
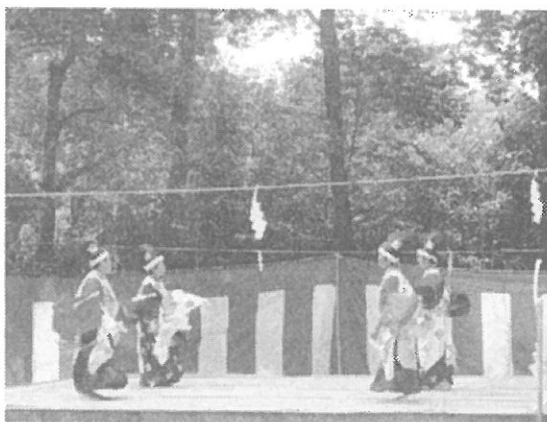
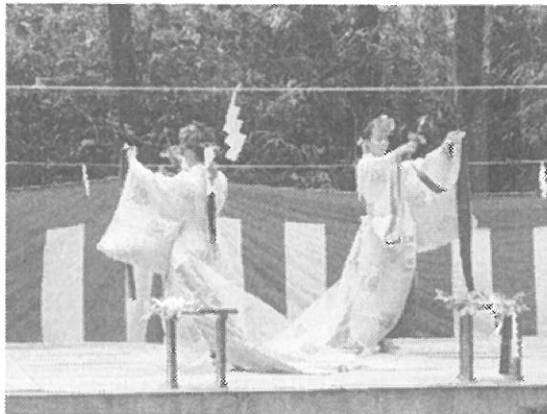
人口が減っている地域には、保育所がなくなり、もしあっても延長保育もなければ学童保育所もなく、父母が働ける環境になっていません。

限界集落の問題は、今待たなしです。地区での過疎対策について協議会の立ち上げや地域おこしも大切にしながら、若者たちが子育てしやすい地域にしていこう手立てを、行政も真剣に考えなければならぬ時期にきています。



紅葉に映える 子どもたちの舞い

-岩嶽雄山神社 秋の例大祭-11月3日



上から「立山の舞」「稚児舞」「浦安の舞」

七五三で孫を連れて来られたおばあちゃん、初めて見たけど、毎年やっとながけ。」と尋ねられました。毎年11月3日に行われていますが、踊りは意外と知られていないと思います。ここに載せました。神社内の石舞台上で。